

# 10 教育の質を高める「働き方改革」推進プラン

「教育の質の保障」「教員の心身の健康」「教員の適正な処遇」等の面から喫緊の課題である。

## 基本理念

～ 教師でなければできない仕事に全力投球～

### 1 目的

教職員一人一人の心身の健康保持と、誇りとやりがいをもって生き生きと職務に専念できる条件を整備することにより、学校教育の質を向上させる。

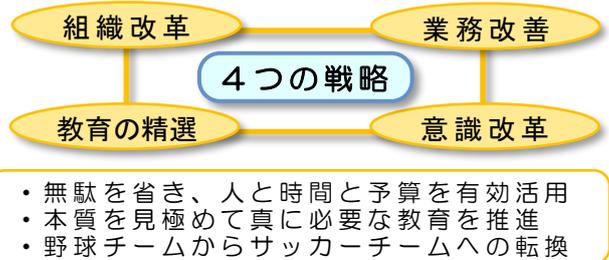


### 2 現状と課題

- (1) 看過できない教員の超過勤務実態
- (2) 多様化・複雑化する学校現場
  - ① 教師としての溢れる情熱
  - ② 降り止まぬ〇〇教育
  - ③ 肥大化する学校の役割
- (3) 求められる教員の資質向上
- (4) 育児や介護等を抱える教員の増加



### 3 基本方針



勤務指標	月の残業時間	月 25 時間以内 (目標 20 時間)	年次有給休暇	15 日間以上取得 (目標 20 日間)
	最終退勤時刻	毎日 19 時までに退勤 (目標 18 時)	夏休	年休と合わせて 9 日連続取得 (目標 14 日間)
	定時退勤日	毎週水曜日は 17 時退勤	学校閉庁日	長期休業中に 8 日間設定
	休日出勤	原則禁止	土曜授業	運動会、音楽会、探究発表会 (振休無は 1 日)

## 主な戦略プラン (総論賛成、各論反対としないために)



	項目	事例	削減時間(月)	
業務支援	教職員の情報共有の DX 化	会議・研修・連絡事項の DX 化、iPad でリアルタイムに情報共有	- 2.4 時間	
	校務分掌等の DX 化・ペーパレス化	起案文書・指導計画・週案提出等の DX 化、印刷・配布業務の軽減	- 2.1 時間	
	学校と家庭との相互連絡等の DX 化	各種通信・通知文・緊急連絡・欠席連絡・アンケート等を電子化	- 0.5 時間	
	児童用タブレットの有効活用	電子データでの配信・提出(回収)・提示・掲示などの工夫	- 1.3 時間	
	講師による時数軽減、社会の力活用事業	講師配置により負担の大きい校務を担う教員の授業時数を軽減	- 2.0 時間	
	SSS の活用、レターボックス設置	教員の事務作業等の業務の支援、紙文書類の配布の効率化	- 2.3 時間	
	文書作成の簡略化、定型化	校内文書・指導案・通知文等の内容の精査・定型化・削減	- 0.8 時間	
	諸会議等の削減、工夫、時間厳守	朝会廃止、夕会は週 2 回、職員会議は年 6 回、開始終了時刻を厳守	- 1.4 時間	
	勤務時間の見直し	児童の実質登校時間に合わせて勤務開始を 10 分間繰り上げ	- 1.0 時間	
	課題：校務システム (内部と外部系の運用) ・個人メールアドレス付与・通信環境・オンライン会議など DX 化の推進、人材配置			+増加?
業務削減	モジュール授業の導入で授業数を削減	週 6 回実施で、月金 5 時間、水は午前授業とし、執務時間を確保	- 1.8 時間	
	余剰時数・総授業時数の見直し	余剰時数 0~10 時間以内、学期前後の各 3 日間程度は午前授業	- 1.1 時間	
	学校公開・保護者会・宿泊行事の精選	学校公開は各学期 1 回、保護者会は年 3 回、5 年移動教室は一泊	- 0.5 時間	
	各種通信、連絡事項の一本化	学年便りを廃止、学校便りに統合、重複していた連絡事項も一本化	- 1.0 時間	
	ホームページや対外文書校正等の簡素化	学校ホームページは管理職が作成、文書の校正等も管理職が担う	- 1.1 時間	
	通知表の押印廃止、所見の見直し	担任印の廃止、道徳・総合・外国語の所見は毎学期→年度末 1 回	- 0.2 時間	
	職員室の一体化、共同担任制の導入	さくらと通常級を一体化、さくら・専科を加えて 4 人で学年経営	- 0.9 時間	
	夜間・休日の会議・地域行事等	夜間や休日に教職員が参加する会議や地域行事等は、原則禁止	- 0.3 時間	
	課題：悉皆研修、新規事業、調査・統計・報告類、ホームページ掲載依頼、学校へのメール配信 (各校で仕分け・印刷) 等の増加			+増加?
	教育の精選	委員会・クラブ活動	年間 11 回×60 分間、15 単位時間に削減し、活動内容を充実改善	- 0.5 時間
水泳指導・長期休業中の教育活動		1 学期 3~5 回、検定廃止、長期休業中は補習以外の活動を廃止	- 0.3 時間	
放課後補習教室・土曜補習教室の工夫		補習は寺子屋として授業時間帯に、土曜補習は夏季休業中に実施	- 0.9 時間	
体育的・学校的行事		運動会を午前開催とし、競技種目を精選、練習時間を 5 回に短縮	- 0.5 時間	
文化的・学校的行事		毎年音楽会とし、学びの蓄積と円滑な運営、練習時間を 5 回に短縮	- 0.5 時間	
学校公開・学習発表会		休日の公開は、日々の授業の成果の発表の場として年 1 回のみ設定	- 0.4 時間	
オンライン朝会、児童集会等		全校朝会はずべてオンライン、児童集会もオンラインを活用	- 0.3 時間	

## 時間外勤務時間の状況 (直近 5 年間)

合計 24.1 時間の削減 (月平均)

← 逆に増加分もあるはず

